

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2012 July

07

Vol.552

03 [特集]

福岡同友会創立50周年にあたって

06 21世紀型 自立型企业づくり

経営指針書運用ではっきりした課題

～社長はあせらず色を出していく～

竹下産業株式会社

09 第6回支部長・支部活動研修交流会

10 物づくり、人づくり、地域づくり 18

11 ようこそ同友会へ

12 7月行事案内

14 新サービスご紹介

15 第2回 理事会報告

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

Information

委員会登録をお願いします!!

福岡同友会では2011年度より委員会の登録を行っています。経営課題ごとに深く専門性を追求することや時代の流れの中で必要性が出てくること等について学びを深めるのが「委員会活動」です。

積極的に参加して経営に活かしてください。



6月末までに皆様のお手元に送付致しました会員データ更新表にパンフレットを同封しております。ご覧いただき、登録のFAXをお願いします。

今月の表紙



撮影：濱田 満広

当店では、スペイン製の石窯を使ってパンを焼いています。石が出す遠赤外線により、パンの芯から素早く熱が入り、外皮に向かって熱が広がります。そのため、外がパリッと、内はしっとりもっちりした美味しいパンが焼き上がります。



「私の逸品」 スペイン製の石窯

(有)パン・ド・ミー 代表取締役 金森 信吾 氏

「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真を公募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成24年9月号は平成24年8月1日必着
投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
もしくは a_satou@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会で選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※表紙に目次が入るため、写真に文字が入ります。ご了承ください。

Information

機械設備の導入を、お考えの小規模事業者の皆様!! 設備投資助けます!!



(財)福岡県中小企業振興センターでは、設備の導入による、創業と、経営基盤強化のお手伝いをします!

☆設備貸与（割賦・リース）制度

必要な設備の導入を図られるときに、当センターが代わって、希望の設備を設備販売業者から購入し、長期低利で割賦販売又はリースする制度です。

☆設備資金貸付制度

必要な設備の導入を図られるときに、機械設備資金の一部(1/2以内)を、無利子で貸し付ける制度です。

※ 対象となる企業・従業員数・設備等、詳細については、お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

(財)福岡県中小企業振興センター 設備支援グループ

福岡市博多区吉塚本町9-15 中小企業振興センタービル 6F

TEL 092-622-6322 FAX 092-624-3300

福岡県中小企業振興センター

検索



福岡同友会創立50周年にあたって



「福岡同友会の過去・現在・未来」 会員企業の存続発展で生きる・働く・暮らす・人間らしく生きるを まっとうでできる社会へ

福岡県中小企業家同友会は2013年3月に50周年を迎えます。50周年を大きな節目として、50年間の運動の歴史を振り返り、これからの運動の方向と、さらなる強じんな組織作り、福岡同友会ここにありと県民に広く存在を知っていただくため、50周年記念行事を行ってまいります。

創立50周年記念事業

代表理事／創立50周年総括本部長 中村 高明



営環境改善や経営諸課題に取り組み生き抜いてきた中小企業家の足跡でもあります。

福岡県中小企業家同友会は、1963年3月25日に県下の中小企業家79名によって創立され、2013年には50周年を迎えます。同友会運動の歴史は「日本経済の真の担い手は中小企業である」との自負と誇りを胸に自助努力の旗を掲げ、自立型企業を目指して経

先輩中小企業家が、同友会運動の中で幾星霜を経て「三つの目的」を掲げ「自主・民主・連帯」の精神に立ち「国民や地域と共に歩む」という理念を確立されました。益々厳しくなる経営環境の中で、私達は、この理念を継承し個々の会員企業の存続発展と雇用の維持拡大により地域の活性化を果たさなければなりません。そして時代を創る同友会を目指さなければなりません。従いまして創立50周年記念事業のコンセプトを「福岡同友会の過

去・現在・未来」へ会員企業の存続発展で生きる・働く・暮らす・人間らしく生きるをまっとうでできる社会へと致しました。このコンセプトに沿って次のような記念事業を行って参ります。

●過去：30周年・40周年の記念事業の中で、さくら公園は継続すべきではないかと鑑み、福岡市西区今津運動公園の中のさくら公園の現状を視察しました。海に近いため育っている状況ではありませんでしたし、都心からあまりにも遠いので継続を断念致しました。「50周年記念誌」を編纂し50年間の運動の歴史をしっかりと振り返り到達点を明らかにします。

●現在：3・11から日本を復興させるため復興支援キャンペーン

ング「SMILE AGAIN」の普及CD配布活動に記念事業として取り組みました。皆様のご支援により537万1612円（平成24年5月31日現在）の義援金が寄せられました。7月13日岐阜の全国総会にて、岩手、宮城、福島同友会に贈呈致します。

●未来：少子高齢化・人口減少・大企業の海外移転の中で、地域は益々疲弊し経営は益々厳しい状況に陥って行きます。私達自身が苦況を打開し時代を創らなければなりません。

①映画「ふるさとがえり」とパネルディスカッションによって中小企業憲章の内容実現と基本条例制定のきっかけとします。地域づくり・仕事づくり活動を展開して行きます。

②第43回中小企業問題全国研究会を誘致し、翌年2月14日～15日ヒルトン福岡シーホークにて開催します。全国同友会会員と共に学び将来の経営戦略を見出します。

③第51回定期総会と創立50周年記念式典を翌年4月25日ホテル日航福岡にて開催します。福岡同友会創始者鳥越俊雄氏の御子息でニュースキヤスターの鳥越俊太郎氏の記念講演と記念行事により、会員の明日への活力を引き出し、地域へ感謝の意を表します。

④地域を活性化するためには、中小企業が元気で雇用の維持、拡大を図らねばなりません。生き抜く中小企業家づくり、強靱な企業づくりの仲間を増やさなければなりません。

創立50周年記念事業を会員全員で盛り上げ、一人で悩み孤立する経営者を記念事業に誘い励ましあい共に生きる仲間を増やしましょう。今期末の会員数目標2300名を、「一人が一人の新会員を紹介、全国研究会迄に達成」を合言葉に福岡同友会を強く大きくしましょう。

行政担当者、学校関係者や学生など、幅広く多くの人たちに憲章の認識を高めていきたいと思っております。

また、憲章の精神を各地で実施するために、中同協は「全国の自治体に中小企業振興基本条例の制定を」と呼びかけています。福岡同友会では、福岡県と主要6市(福岡・北九州・飯塚・直方・久留米・大牟田)に対し、条例制定に向けた動きを開始しています。

福岡県に対しては、1999年から毎年行っている「政策提言」の中で重要事項として提起しました。今後毎年追求していきます。

福岡市および北九州市に対しては、各地区会において昨年より初めて「政策要望」を提出しました。これも新しい歴史の始まりです。条例制定を「政策要望」の柱に据え取り組んでいきます。

筑豊地区の直方市においては、以前より県からの要請を受け、「直鞍産業振興世界戦略会議」が設置され、その中で条例の重要性を訴えてきました。そこで、条例の内容の検討に入り条例案を策定しました。いよいよ本年度、直方市中小企業振興条例が制定されます。

筑豊地区の飯塚市においては、憲章制定を活かし、筑豊地区会から飯塚市に働きかけ、大掛かりな

イベント「中小企業憲章シンポジウム」が7月25日に開催されます。

「地域を支える主役、それは中小企業」～広めよう！生かそう！私たちの「中小企業憲章」～と題した、経済産業省中小企業庁企画課長による講演とパネルディスカッションです。福岡同友会筑豊地区会と中小企業団体中央会筑豊支所の主催ですが、飯塚市、嘉麻市、桂川町の2市1町とこの地域の中小企業団体や金融機関との共催でもあり、地元の大学の協力もとりつけた地域ぐるみの壮大なイベントです。この憲章シンポジウムをとおして、憲章の精神が反映される地域の条例が必要であることを訴えます。

このように本年度は、福岡同友会創立50周年記念式典を前に、憲章の広がりや条例制定が具体的に前進する年にします。

また、平成13年2月14～15日に福岡で開催される第43回中小企業問題全国研究会は、「今こそ、社会の主役である中小企業が日本を変える！」～中小企業憲章の精神を企業と地域のすみずみまで～をメインテーマに掲げ、創立50周年の記念事業の一つとして全会員一丸となって取り組みます。福岡同友会の会勢転換を図り2300名の会員数を達成し、勢いよく全国研究会を迎えましょう。

中小企業憲章推進の取り組み

代表理事／中小企業憲章推進本部長 中山 英敬



中小企業憲章が閣議決定により制定されて6月で2年になります。中同協は憲章が閣議決定された6月を「中小企業憲章推進月間」と位置づけ、6月4日にキックオフ集

会を開催し、この月間のスタートを宣言しました。全国の各同友会において、憲章推進のための学習会やイベントなど、様々な企画が練られており、全国一斉にこの取り組みが始まりました。福岡同友会での取り組みは、「憲章アンケート」と「映画ふるさとがえり上映とパネルディスカッション」です。この内容は、月刊同友6月号で紹介させていただきましたので割愛いたします。このようなイベントをとおして、中小企業家のみならず

創立50周年記念増強について

代表理事／会員増強戦略本部長 田浦 通



福岡県中小企業家同友会創立50周年に当たって、会員増強をどう進めたら良いのか、戦略本部としての方針をお伝えしたいと思います。

先ずその前に、平成13年2月14～15日に福岡で開催されます、第43回中小企業問題全国研究会に2300名の会勢を達成して、全国から同友の仲間をお迎えすることが6月理事会で確認されました。この2300名という目標は各支部で建てた、自主目標の合計に、糸島新支部設立に向けた26名+αで構成されています。したがって各支部の自主目標達成如何に、全体目標の成功が掛かっています。

ところで会員数は1992年の2920名の会勢をピークに24年間減り続け、6月末現在で1980名の会勢と成っています。

会勢は、福岡同友会の全活動の良

否のバロメーターであります。現状の会勢に対して皆さん同様、私も大変危機感を感じています。

そこで会員増強戦略本部では、以下の通り今期の3大重要方針を掲げました。

1、全会員へ、増強の意義と目的の浸透を図ること

2、会員満足度を徹底追及し、退会者を半減すること

3、組織的増強の実施

さて少し説明いたしますと、1つ目は、何故会員増強が必要なのか、との疑問を持つ会員さんに「会員増強の意義と目的」をしつかり理解して戴く必要があります。その為には、地区や支部では、増強をテーマとした討議の場を設け「同友会発展の為に」と「増強の手引き」や「増える組織・減らない組織」のチェックシートとの活用と、前掲の冊子普及を実施して戴きたいと思えます。

2つ目は、退会者を減らすことです。福岡同友会では年間270名前後の新しい会員さんを迎えるながらも300名程の退会者があり、経営の悪化、会に馴染めない、自社の経営課題に合っていない、等の理由で退会に至っています。この退会者を減らす

には、入会后、必ず新入会員フォローアップを受講して戴くこと。自社の経営課題にマッチした委員会に登録し活動に参加すること。また会に早く馴染んで戴く為の対策として、支部でフォローアップ担当者をつくる。例会などで受付担当をして、早く会員に顔を覚えて貰う。ブロック会で会社を訪問し、自社の経営体験や悩み等の報告をして戴く、等等各種の仕組みが必要で、また地区や県の活動に十分に理解しないまま退会される方には、非常に勿体なく大変残念に思えます。この問題に関しては、支部長及び支部役員・各委員長からの告知とリードが特に重要です。会員さんに、定期的に各事業の説明をキッチリ行って、積極的に参加を促しましょう。

ところで増強本部に於いては、現在会員満足度のアンケート調査を実施しています。会員さんの満足・不満足要因を明らかにして、的確な対策を取っていく事が必要です。アンケートの集計分析の結果は、全組織で共有しますので、各自が担当する場面に於いては、適切な対応をして戴きたいと思えます。

3つ目は組織増強を実施する、であります。現在の増強は、会員の知己者を対象に、入会を勧めるやり方が殆どです。今後は併せて、他団体や行政等とも連携した、組織的増

強を推進してまいります。そこで同友会の認知度を上げる為にも、メディアの活用など、広報戦略を強力に実施してまいります。

また県では、既に活動中のすばる特別委員会や、志賀島セミナー卒業生で組織する、フォローアップの会を新設して、ベテラン会員のご協力を得て、増強を進めたいと思えます。

ところで134ヶ月間、毎月連続入会が続いている支部や、会員間の人間関係がとて密で退会者が少ない支部があります。経営指針推進委員会が主催する「あすなるゲストオープンセミナー」での実績など、会員増強に繋がるヒントが、会内でも多く実証されています。どうか各種の成功事例から学び、会員増強に繋げて戴きたいと存じます。

そして最後に会員増強は、同友会3つの目的の総合実践に尽きるかと思っています。同友会で学び自社経営を発展させ、同友会理念体現者が増えること。そのことが、会員増強の最大のモチベーションではないでしょうか。

会員増強活動を楽しく、激しく、そして本音で語り合い、「一人が一人の新会員を紹介・全国研究会までに2300名の会員達成」を合言葉に全会員一丸となって、行動してまいります。

経営指針書運用ではつきりした課題

社長はあせらず色を出していく

海苔という身近な食品ですが意外に知られていない業界で3代目社長に就任。自分よりも社歴が長く年上の社員も存在する中、もともとあった経営指針書の運用を図っていくのでした。



竹下産業株式会社

代表取締役

たけした まさとし
竹下 政敏 氏

有明支部

創業 1965年11月
住所 柳川市本町68-4
電話 0944-73-7111
社員 70名
<http://takeshita-ind.co.jp/>

会社設立

「昭和40年、私の祖父が法人としてスタートさせました」と語り始めたのは竹下産業(株)代表取締役の竹下政敏さんです。「それまで勤めていた農用器具製造会社の副社長を辞め、有明海の家業養殖生産が増えそうだと読んで初代が新規分野に飛び込んだのです」と竹下さん。

「海苔というと、いわゆる3山(山形屋・山本屋・山本山)が有名ブランドですね。それらは生産者が乾海苔に加工し、共販にかけられ問屋に卸してからのブランドです。実際に海で海藻を採り、陸(おか)で乾燥させるのは一次生産者である漁業者です。社では海苔を乾燥させる大型全自動乾海苔製造機」ト

取材 月刊同友編集部
文章 菅原 弘
写真 船木 治



ライスター」の製造・販売・メンテナンスを行っています」。

海苔生産の特徴

海苔の産地は全国に散在しますが、昨今はコンビニのおにぎりであり、有明海が全国No.1の収穫高となっています。その有明海では、漁期は11月から3月です。9月に

海面に支柱を立て10月から育苗に入り、11月下旬に摘採が始まります。「雨により山の栄養分が海に運ばれますが、逆に雨量が多いと塩分濃度が低下し、海水温が上がってうまく育たないんです」と竹下さんはその難しさを説明してくれました。摘採の時刻も潮の干満に左右されますから、毎日1時間ずつずれていきます。「ウチとしては漁期中24時間体制でメンテナンスに当たります。技術部・製造部・営業部・総務部がありますが、部門にかかわらず社員全員がメンテナンスを回ります。まさに待ったなしで対応しています」。



工場内加工機械

漁期が終了した4月以降は機械の製造に取り掛かります。「生産時期でいうと『お米』と逆ですね。昔は農家の方が出稼ぎに来ていたようです。今でも海苔の検査員は長野県出身の人が多いんですよ」。

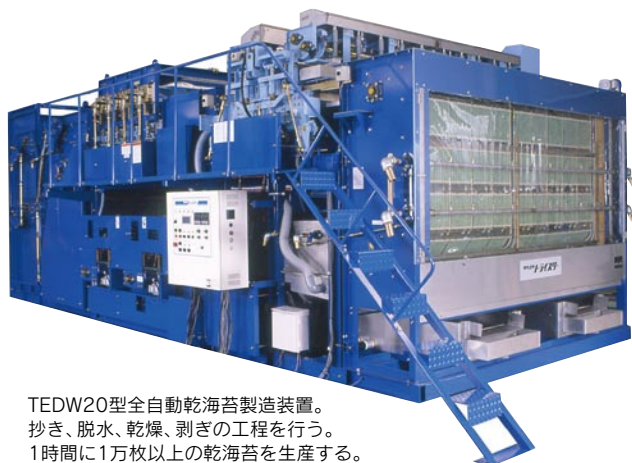
海苔加工は、海藻の洗浄や異物除去などの前工程全自動乾海苔製造器による抄き、脱水、乾燥、剥ぎの工程・選別や箱詰めなどの後工程があります。機械化される以前は手漉き、天日干しで行っていましたが、現在では『ライスター』により1時間に1万枚以上の乾海苔生産ができるので、大幅な時間短縮・コスト削減をすることができました。「海苔は角が欠けたり、破れがあったりすると商品になりません。味はもちろんですが、色つやなどの仕上がりも重要です。そこが腕の見せ所ですね。漁業者の納得のいく商品づくり、消費者が喜ぶパリッとした食感を出すのがたいへんです。繊細な海苔に対応する、繊細な神経が必要です」。独自の工夫を積みかさね、現在『ライスター』は全国で1000台以上稼働しておりシェアはトップを占めています。

「同業他社さんと比べて一長一短あるでしょうが、乾燥機で生産する乾海苔の生産性や品質、メンテナンス体制などちょっとずつの差でウ

チが評価されているのではないのでしょうか」と竹下さんは語ります。

海苔業界について

海苔の生産高は減少しています。ピークには生産高100億枚を越す生産量がありましたが、今漁期は80億枚を下回りました。生産過剰で買ったたかかれていた時代は過ぎて、ここ数年海苔の単価は上がっていると言います。最近では「お隣の韓国・中国でも生産されていますが、韓国では日本以上に海苔が食べられますし、中国は国土の割に海苔の採れる海岸線が短いので、海苔の日本への輸入はそれほどありません。以前は両国への機械の輸出はありましたが、今はウチの機械を参考にして自国で製造しているようです(笑)」。このような状況下で最近では「ウチのような機械ができたので安く大量に海苔が生産できるようになったのです、この時代に天日干しでやれば店頭では1枚1000円になるでしょう。以前よりは高くなったとはいえ、海苔の生産者価格は安いものです、もう少しは評価されて(高くなっても)いいと思います。試食販売などを通じて海苔のおいしさを知ってもらい、価値を再認識してもらわなければならない。また海苔



TEDW20型全自動乾海苔製造装置。
抄き、脱水、乾燥、剥ぎの工程を行う。
1時間に1万枚以上の乾海苔を生産する。



組立工場内の様子

業界は成熟期を迎えていると言っ
てよいでしょう。次世代の主力商品
の開発もウチの課題だと思います」。

3代目社長に就任

竹下さんは自動車会社に勤めて
いました。平成8年9月後継者と
して当社に入社、平成22年7月3
代目の社長に就任します。自分よ
り社歴が長く年上の社員も少なく
ありませんでした。竹下さんは社
長になってやりたいことは多々あ
りましたが、急ぐことなく推し進
めようと考えていました。「社長に
なって、急に変えていって現場
が戸惑います。一歩ずつですね」。
まず取り組んだのが、自分の考え
ていることを社員に浸透させるこ
とでした。そこで役立つのは『経営
指針書』だと言います。

「経営指針書は同友会入会以前か
ら父親である先代の社長が作成し
ていました。しかし実際には社員は
そのまま机の中にしまいこんでい
たのが実情です」。社員とのコミュ
ニケーションを深めていくことの
重要性を痛感したと言います。「技
術力は高い社員がいても、話したり
企画したりすることが弱いんです。
毎週月曜日の部長会や月初めの早
朝会議など会議をしているんです
が、実は聞き流しになっていたんで

すね。資料を配布したり、メモを取
る習慣づけをしたり、そういうこと
から始めました。機械のトラブル
やクレームなどの事例など情報を
共有するようになりました」。

平成23年度からは、まず社長の
方針を社内ですべて提示し、部門ごと
に部門方針を作成し社員へ発表を行
うようにしました。「経営指針書の
作成は、同友会の『労使見解』の学
びが生かされています」と竹下さ
んは語ります。

新卒採用と社員共育

例年2〜3名の新卒採用をして
います。24年度は5名を採用しま
した。

次に社員共育です。従来は「現場
に出せばいずれ仕事は覚える」とい
うやり方でしたが、竹下さんは新人
社員に2週間の研修期間を設けま
した。海苔業界の知識や自社製品の
知識、製造技術など学んでいきます。
「資料は技術部、製造部、営業部、総
務部が作成し、新人の指導に当たり
ます。こうしたことがウチの企業風
土になればいいと思います」。入社
時に研修を行うことにより、OJT
の効率が上がったといいます。併せ
て、銀行や商工会議所の新人研修に
も派遣し世間一般の教養も身に着
けてもらおうと考えています。

「新人や若手が育っていくことは、
中堅やベテラン社員にもいい刺激
になりますね」。こうして組織の活
性を狙っているのです。「私の右
腕の育成、それが課題です」と竹下
さん。

経営指針書運用で 分かったこと

このように経営指針書は運用し
て改めて自社の課題がはつきりし
てきました。社内でのコミュニケーション
を深めることにより、新卒
採用と社員共育、中堅社員の育成、
成熟期を迎えた海苔業界の中で自
社製品の質的向上と量的拡大、さ
らには将来を考えて新しい主力商
品の模索などが挙げられます。

自立型企業について

取材の最後に竹下さんの考える自
立型企業について伺いました。
「お客様が求める価値を継続的
に提供し続ける会社だと思います。
ウチの場合で言うと機械を使う人、
もっと大きく捉えると海苔を買う
人・食べる人になりますかね。この
『継続』っていうのが難しいですね」
と笑顔で締めくくっていただきました。

取材協力ありがとうございました。

第6回支部長・支部活動研修交流会

第6回支部長・支部活動研修交流会に参加して

筑紫支部支部長 森 茂博^{もり しげひろ}

和新工業(株)代表取締役

去る5月24、25日の両日に中同協九州沖縄ブロック主催の表記の研修交流会が別府で開催され、各県の県役員、支部長110余名が研修に臨んだ。



壇上で挨拶される中村代表理事

開催テーマ「何のための同友会か?」を追求し、企業経営と同友会運動を不離一体のものとする」の下、1日目は問題提起として「役員として会員の模範になる強靱な企業づくりへの挑戦」の報告と関連実践事例報告があった。2日目は「企業変革支援プログラムステップIIの活用」のテーマで①同友会活動に生かす、②自社経営に生かすにはの2点について報告があり、それぞれ、グループ討論において学びを深めた。

企業経営と同友会運動を不離一体のものとするには、「よい会社を作る。よい経営者になる」を目指し、そのために、同友会の学びを企業経営に生かし、企業での実践を同友会活動に還元することが必要である。更に、役員自らはその体現者になることが大事であることを再確認した。「よい会社になるとは、まず、強い体質の会社になることであり、利益が出ている会社は元気で明るいという共通の特徴があるように、同じことが同友会の組織においても会員が増える組織は元気で明るいと言え

る」。その実現は企業の経営者として、同友会の役員としての使命であり、リーダーとして①企業家精神(問題を見出し、自らが変わる)、②管理者精神(問題解決力)、③リーダーシップを現場・現物・現実の三現主義に立ち養わなければならないという報告には大いに共感した。

経営者、役員がまず、自己変革し、気づきを実践に移す重要性を再認識すると共に、他県同友会の活動状況からの学びと新しい仲間と知り合えた二日間の研修会であった。これもまた、同友会役員の役得であろうかと感じた。

福博支部副支部長 田上 恭由^{たがみ やすゆき}

(株)ワイコム・パブリッシングシステムズ 代表取締役社長

田中信吾兵庫同友会代表理事の熱のこもった報告には、思わず聞き入り、たくさんのことを考えさせられました。バブル崩壊と同時に自身の事業の赤字転落と阪神大震災を経験し、経営指針の見直しと企業の存在意義を再確認。その後見事に立てなおされました。兵庫同友会では10年以上も代表理事を務め、会社の業績向上と同様に会勢も伸ばしておられます。どちらも伸ばしているのは、ひ



九州・沖縄各県から集まった会員さん

とつのやるべきことに集中し、成果が出るまで取り組むということだと感じました。支部長は3年やるべき、という主張にもうなずけるところがあります。同友会を頑張り過ぎると経営が疎かになる、という考え方を木っ端微塵にしてしまうくらいのパワーのある報告でした。やるならヤルで徹底してやる。副支部長職を拝命しておりますが、仕事も同友会も、徹底してやったものにしか、わからないものがあるに違いないと感じました。



貼ることによって、フィルム専門店

貼りアップ株式会社

代表取締役 濱田 浩光氏 (南支部)



会社を移転

現在南支部支部長の濱田さんの会社は、2011年12月に千代町から現在の堅粕へ移転してきました。

業務内容は【貼ること】にこだわって、自動車の窓ガラスに貼るカーフィルム施工や、自動車に社名や商品の紹介ができるステッカーの製作施工などです。

以前の事務所では作業場所、事務所ともに狭く、社員をのびのびと育てる環境ではありませんでした。移転したことによって広く明るくなり、同時に社員とゆっくりミーティング

ができる場所も確保でき、コミュニケーションもより深く取れるようになりました。

今までは車のディーラーやカー用品店に訪問して施工作業を行う訪問型サービスがメインでした。しかし、作業場所やお客様との対応スペース、駐車場も確保できたことにより、今までの訪問型だけでなく、直接来店型のサービスも充実させることが出来るようになり、よりきめ細やかな対応を目指しています。

東日本大震災復興支援ステッカー

この度の未曾有の大災害で、濱田さんは社員と一緒に何かが自分たちにできることはないかと考えました。

ここで創りだされたのが「がんばろう日本! チャリティーステッカー」です。

1枚1000円でチャリティー販売し、価格から制作原価を引いた約

200万円の義援金を赤十字を通して、被災地に送ることが出来ました。同友会の仲間の協力は勿論の事、インターネット等を通じて知らない方からも協力いただいたことが大きかったようです。皆様のご協力に大変感謝しておられました。

インターネットを通じて

チャリティーステッカーでインターネットの威力を痛感した濱田さん。今後は、ホームページを充実させることによって、ディーラーやカー



チャリティーステッカー “継続販売中”



ご来店頂いたお客様に、商品説明をおこないます。

用品店の下請けとしてだけでなく、一般法人からのステッカー受注や個人のカーフィルム施工にまで広がっています。

また会社

が行っている様々な事業を紹介していくことで、毎年新卒採用できるようなになればと考えておられるようでした。

貼りアップ株式会社
福岡県福岡市博多区堅粕
4丁目26-17
TEL 092(411)3755
FAX 092(411)3715
<http://www.shieldkoubou.com>

取材・撮影 広報情報室 印口 悟

WELCOME Fresh our partners

新入会員ご紹介

ト
ク
フ
ン
ド
友
会
へ



森法律事務所

随時相談を受け付けております。
早期解決のため危惧を感じたら
すぐご相談下さい。

飯塚市新立岩4-4 クレイン3ビル801
TEL 0948-43-9811

もり たかし
所長 森 隆 (嘉飯支部)

本年2月に入会いたしました森と申します。飯塚で弁護士をしています。

昔からの知り合いからお勧めいただき入会いたしました。

飯塚は地元ではあるのですが、長年離れていたこともあり、例会への出席等を通じてたくさんの方に出会えたことにつき感謝しております。

今後とも宜しくお願いします。



あらまき歯科

歯科医療サービス業。
あらまき歯科は来院者の健康と
幸せをサポートいたします。

筑紫郡那珂川町片縄東1-22-13
TEL 092-953-1181
<http://www.aramaki-dc.com>

あらまき けんいち
病院長 荒巻 健一 (博多支部)

那珂川町で、あらまき歯科を開業して13年目になります。

平成24年1月に入会と同時にあすなろ塾に参加しました。平成24年2月の経営指針作成セミナーに参加させていただき、経営指針を作成してあらためて経営の基礎を学び続けております。同友会で真摯に経営に向き合う仲間に出会えたことが何よりの成果だと私は感じております。



ちくし法律事務所

弁護士7人の法律事務所。
法律相談、交渉、調停、裁判、
強制執行、倒産処理など

筑紫野市二日市北1-1-5
TEL 092-555-7542
<http://www.chikushi-lo.jp/>

いのうえ まい
弁護士 井上 茉彩 (福友支部)

ちくし法律事務所で弁護士を務めております、井上茉彩と申します。

当事務所は二日市に所在し、現在弁護士7名、事務局10名で、経営者の方や個人の方々のトラブル解決のお手伝いをさせていただいています。先輩弁護士である浦田秀徳先生より、「同友会は勉強になるから、是非行ってみなよ。」と勧められ入会させていただきました。皆さんに温かく迎えていただきとても感謝しています。これから、どうぞよろしくお願いたします。



(株) ティック ワールド

自社にて靴作りを行い、
問屋に卸し直営店舗で
販売しております。

佐賀市富士町大字上熊川字苗代676-8
TEL 0952-64-2777
FAX 0952-64-2888

たむら やすはる
専務取締役 田村 泰治 (福博支部)

足に優しく人に優しい、靴工房JUMBOの田村です。靴の製造、卸、小売をやっております。

入会のきっかけは、コンサルのご紹介です。

例会は毎月参加させていただいておりますが、様々な異業種の方々のご意見がとても勉強になり、励みにもなっております。

今後は後継者のためのセミナーなどをしていただければ、と思っております。

19 木 18:30~21:25

青年支部
7月例会

同友会青年支部経営者お悩み相談会
～僕のこと全部話します。だから真剣に答えてほしい若手経営者としての相談～

- IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
- 大丸 拓郎氏 株式会社大丸製作所 後継者(青年支部)
- 伊藤 栄樹氏 伊藤中小企業診断士事務所 中小企業診断士(西支部)

大学を卒業後、地元の大手企業に就職、それから家業の家具製作業に入社し丸4年、わが青年支部の大丸拓郎君は3代目として日々邁進しているものの次期経営者として悩みはつきません。そこで、中小企業診断士伊藤栄樹氏をお招きしその問題点を抽出していただき、一般的に中小企業として陥りやすい問題点と合わせながら様々な業種が集まった青年支部会員のそれぞれの知識と経験上の体験を踏まえながら問題点をみんなで解決点をさぐります。また、他社の問題点を、様々な経営者が集まった青年支部会員が「幅広い知識・それぞれの体験を通じ真剣に解決策を考えることで、自社の問題点と置き換えて考えてみることで、自社の問題点解決策の一助になるよう勉強します。

19 木 18:30~21:00

西支部
7月例会

笑顔の会社作りのために ～労働基準法の基礎知識～

- 天神ビル 福岡市中央区天神2丁目12番1号 11F ☎0120-323-920
- 多比良 修氏 多比良修務管理事務所 社会保険労務士(西支部)

同友会のいう、全社一丸の企業づくりには、法令順守が前提となります。しかし、昨今、労働基準監督署、労働審判を利用して権利を実現する労働者も増加傾向にあります。今一度、労務管理の基本法である、労働基準法、特に労働時間と賃金について報告を行いたいと思います。当日は、労働法に詳しい弁護士、社会保険労務士に出席いただき、グループ討議にも参加していただき、事例をまじえながら、より理解が進むようにしたいと思います。

19 木 18:30~21:00

中央支部
7月例会

あなた自身を変えてみて会社を変えてみませんか
笑いを会社に取り入れる経営とは

- 天神ビル 福岡市中央区天神2丁目12番1号 11F ☎0120-323-920
- 亀川 隆氏 鶴池商事株式会社 代表取締役(中央支部)

万年赤字会社を就任1年目より今期まで連続黒字を続けるあの社長(前支部長)が吉本喜劇かと間違えう程、面白かつ熱く語る経営手法とは? 増収増益を続け赤字とは無縁になった今、経営の中で人に言えない苦労が明らかされます。途中ホッと和ませる時間を含めつつ、世の中の景気が今一つ改善されない中、本日は不景気を忘れて笑顔でお帰り下さい。

19 木 18:30~21:00

ひびき支部
7月例会

ものづくり大きな目標
～大企業も中小企業もやることは一緒、違うのは?～

- ニューハートピア 北九州市八幡西区岡田町10-10 ☎093-645-0012
- 大庭 正氏 村上精機工作所株式会社 取締役

20 金 18:30~21:00

りょうちく支部
7月例会

- 道の駅うきは 会議室 うきは市羽浮町山北729-2 ☎0943-74-3939
- 田中 大輔氏 百笑俱樂部 代表者(りょうちく支部)

20 金 18:30~21:00

福友支部
7月例会

なぜ人材を採用し、育てなければいけないのか?
共同求人の有意性とその活用の仕方について

- 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335
- 清家 政彦氏 セイワシステム株式会社 代表取締役社長(南支部)

企業が継続して発展していくためには、企業を支える「人材」が必要不可欠です。いかに優秀な人材を確保し、育成するかが、企業の成長、発展の重要なキーになります。福友支部7月の例会では、同友会の共同求人制度に焦点を当て、なぜ人材を採用しなければいけないのか、また採用した人材をどう育成していけばいいのか、そのためには何が必要なのかを、共同求人委員会の具体的な活動の中から学んでいきます。共同求人委員会の活動内容とその有意性にファークラスし、「共同求人って何ができ、どう活用すればいいか」を報告してもらい、「なぜ人材採用と人材育成が重要なのか」を学びます。

24 木 18:30~21:00

女性部委員会
7月勉強会

経営指針に基づく、会社一丸の企業づくり
～人間尊重の経営を追求し、男性も女性も活躍する会社～

- GGソーラービル 福岡市中央区天神3丁目4-9-10F ☎092-714-0451
- 中山 英敬氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役(南支部)

24 木 18:30~21:00

企業連携推進委員会
FAST7月例会

「産学連携を総括的な社会体制構築に」
～総力連携＝産々々々官々々々金々々々地域地域～

- 福岡県中小企業振興センタービル302 福岡市博多区吉塚本町9-15
- 湯本 長伯氏 九州大学・産学連携センター・デザイン総合部門 教授
ACTION REPORT No19

株式会社長門 代表取締役 小橋 洋治氏(中央支部)
産学連携による「建築物のカビ防除システム」進展
創造的企業に成りたい、創造的で在りたい、というのは企業経営者の持つ共通の願いの一つである。ここで広い目で企業を取り巻く社会体制を考えた時に経済社会がどのように変化しているのか、草の根イノベーションのもと企業の発展に日夜努力し、産学連携が今後どのようにあるべきかを総合的に研究されておられます湯本先生にお聞きいたします。また新しいアイデアが生まれることと思います。ぜひご参加ください。中小企業憲章の実践に向けて行動しましょう。

25 水 18:00~21:00

筑豊地区(筑豊支部・嘉飯支部合同例会)
中小企業憲章シンポジウム

地域を支える主役、それは中小企業
～広めよう! 生かそう! 私たちの「中小企業憲章」～

参加費: 無料

- イイツカコスモスコモン 飯塚市飯塚14-66 ☎0948-21-0505
- 平成22年6月に閣議決定された「中小企業憲章」は、その前文の冒頭で「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である」と明記し、中小企業を取り巻く経営環境の改善や改革の推進を促しています。このシンポジウムを通して中小企業の役割を確認し、学生や一般市民の皆さんの中小企業に対する理解を深めていただき、地元の行政や地域諸団体と協力して地域経済の活性を図る一歩とします。

第一部 基調講演(60分) 「なぜ中小企業憲章なのか?」
経済産業省 中小企業庁 企画課課長 間宮 淑夫氏

- 第二部 パネルディスカッション(60分) 「地域経済発展と中小企業の役割」
＜パネリスト＞
経済産業省 中小企業庁 企画課課長 間宮 淑夫氏
飯塚市 経済部部長 橋本 周 氏
近畿大学 産業理工学部 学生支援課課長 助清 明 氏
有田電器情報システム株式会社 代表取締役社長 有田 栄公氏(嘉飯支部)
＜コーディネーター＞
福岡県中小企業家同友会 代表理事 中山 英敬氏
(株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 / 南支部)

25 水・30 月 15:00~18:00

希望者全員65歳
雇用対策セミナー

【福岡会場】25日(水) 15:00~18:00

- 福岡県中小企業振興センター
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター 302号
- 茅嶋 孝一郎氏 茅嶋社労士・行政書士事務所 所長(博多支部)

【北九州会場】30日(月) 15:00~18:00

- KMMビル 第4会議室
福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-1 ☎093-511-6450
 - 三原 靖氏 社会保険労務士法人九州人事マネジメント 代表社員(北九州支部)
- 高齢者雇用の義務対象年齢が、引き上げられます。現在、65歳未満の定年を定めている企業では下記の①～③のいずれかの措置を講ずる必要があります。同友会では、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に則り、各種支援策を含め勉強会を開催いたします。
①定年の引き上げ ②継続雇用制度の導入 ③定年の定め廃止

26 木 18:00~21:00

新会員フォローアップ
セミナー

- 同友会全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234

7月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

9月 18:30~20:30

地球環境問題委員会
7月勉強会

地域資源の有効活用で仕事づくりと地域再生 ~矢部川流域プロジェクト~

- 福岡同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センター 11F ☎092-686-1234
- 石永 節生氏 NPO法人矢部川流域プロジェクト 理事長
〈㈱イシナガ建築工房 代表取締役〉

NPO法人矢部川流域プロジェクトは、平成10年より環境に優先した家づくりに着手し、地産地消の建築資材開発に取り組んできました。平成17年より全面的に矢部川流域で生産製造された自然素材を住宅用の資材として使用しています。環境、地域内資源循環と地域連携をキーワードに、地域と企業を元気にする新たな仕事づくりについて学びましょう。

17日 18:30~21:00

かすや支部
7月例会

- サンレイクかすや 糟屋粕屋町駕与丁1丁目6-1 ☎092-931-3309
- 明石 勝善氏 株式会社きかねや 代表取締役 (東支部)

入会当初は幽霊会員だったという報告者の同友会との関わり、あすなる塾等での学びを報告していただき、自社の経営に取り入れられることを見つける。

17日 18:30~21:00

玄海支部
7月例会

会員増強のために!! 同友会を語る会 パート2

- 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10 ☎092-741-3335

昨年12月に「同友会の未来を語ろう」という例会を開催し、県、地区、他支部よりたくさんの参加をいただき、熱く真剣に討議することができました。県、地区の代表の方と会員との意見交換する場としての例会は、同友会発展のために支部として恒常的に開催していきたいと思っております。そこで今回は、テーマを「会員増強」として、再び熱く真剣な討議を行っていきましょう!

17日 18:30~21:00

博多支部
7月例会

骨折・挫折・曲折の人生、3本の矢と恩人と夢追人
創業47年で培った事、そして50周年に向けた事業継承と問題

- IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
- 鳥谷 哲弘氏 株式会社インテリア三光 代表取締役 (博多支部)

鳥谷さんは1944年生まれ、創業されてから今年で47周年を迎えました。その47年の間に起こった挫折・曲折、そして目標に向かって追っていった経験をもとに、「社員が働きやすい環境づくり」「脱下請(元請化)を目指した企業づくり」そして将来考えている「事業継承」について報告して頂き、経営指針の必要性と事業継承について学びます。

17日 18:30~21:00

久留米支部
7月例会

同友会に入会して学んだこと

- 萃香園ホテル 久留米市櫛原町87 ☎0942-35-5351
- 鍵田 康策氏、稲葉 雄大氏、川原 賢興氏 (久留米支部)

同友会に入会して間もない方からの報告です。同友会がどのように映っているのか、また入会して何を学びとっているのか、さらに今後何を学んでいきたいか等、新鮮な思いを報告して頂きます。

17日 18:30~21:00

北九州支部
7月例会

「経営指針はじめて物語」~会社を変えた4つのプロジェクト~

- ホテルクラウンパレス北九州 八幡西区東曲里3-1 ☎093-531-7725
- 王 愛氏 有限会社五十番食品 代表取締役 (福友支部)

ついこの間までOLをしてた社長なんてなる気もなかった20代半ばの女の子が、創業者である父の突然の死から社長に!しかも会社の分裂騒動などで落ち込んでいた状態の中の社長就任!そんなあととり娘が今や会社を立て直し立派に社長業をやっています。謙虚な姿勢と謙虚な気持ちで社長業に取り組んでいるあととり娘の社長日記をあなたも学びませんか。経営者として1番大事な事が学べる例会報告です。

18日 18:00~21:00

東支部
7月例会

我社の新事業への挑戦!

- WITH THE STYLE福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3941
- 今仁 康則氏 有限会社ログポート 顧問 (東支部)

マスコミや政府の統計では、景気は回復に向かっているといいながら、いまだに不安定な経営状態の中小企業は多いはず。そういう中、基幹事業を軸にニッチな新規事業を数多く展開されて成功へのチャレンジを続けていらっしゃる今仁さん。サラリーマン時代から経営者になるまでの自身の体験を織り交ぜながら成功・失敗談を楽しく面白く講演いただきます。皆さんの新規ビジネスチャンスのきっかけづくりになると思います。

18日 18:30~21:00

南支部
7月例会

経営における社員との一体感とは?
~一丸経営に取り組む社長奮闘記~

- 天神ビル 福岡市中央区天神2丁目12番1号 ☎0120-323-920
- 貞兼 朋記氏 株式会社マーコムプラン 代表取締役 (南支部)

個々のスキルがどれだけ高くても、経営者と従業員が一体になって目的に向かわなければ、会社としての成長、経営者と社員の人的な成長はないのではないのでしょうか。今回の例会で言う一体感とは、経営者と社員が、会社の向かうべきベクトルを共有し、その目標に向かい一体となることを指しています。一体になるとはどういうことなのか、その必要性は何なのかなど、社員との一体感について模索する過程を報告してもらい、その必要性を再確認し、学びを深めたいと思います。現在の不景気だからこそ、社員と価値観を統一する大切な時期です。日頃は忙しくて、社員とゆっくり心を開いて話し合う機会の無い方には是非、お聞ききたい内容です。

18日 18:00~20:30

福岡支部
7月例会

「労使問題、あなたの会社は大丈夫ですか？」
~従業員の採用から退職まで、知っておくべき法律知識~

- IPホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18 ☎092-262-2009
- 大塚 哲也氏 大塚社会保険労務士事務所 社会保険労務士 (福岡支部)

近年、企業と従業員との労使紛争が多発しています。記憶に新しいところではマクドナルドの店長の残業代不払いの訴え(名ばかり管理職)があります。これに代表されるように身近に多くの企業と従業員とのトラブルが起こっています。このようなトラブルを自社で起こさないためにも、必要な知識を身に付けて労使ともども快適に働ける環境を作りましょう。

18日 18:30~21:30

有明支部
7月例会

家庭から排出される廃プラスチックを原料とした油化事業
~都市油田をめざして~

- (有)柳川商事 柳川市三橋町久末130-3 ☎0944-72-4412
- 梶島 勝己氏 有限会社柳川商事 代表取締役

近隣地域の一般廃棄物中の廃プラスチックを原料とした油化事業に取り組んでいる(有)柳川商事 梶島社長にご報告いただきます。

19日 18:20~21:00

筑紫支部
7月例会

経営指針をバイブルとする

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535
- 権藤 光男氏 株式会社 悠楽 代表取締役 (筑紫支部)

権藤さんは元銀行マンでした。支店長の経験もおありで、当時から同友会や経営指針はご存知だったそうです。今回、第2の人生として老人ホームの経営を手掛けられるにあたり、同友会の経営指針セミナーに参加され、早速、自分の会社に取り入れ、実践されています。経営指針の重要性を語っていただきます。

19日 18:30~21:00

大牟田支部
7月例会

地域密着

- だいふく 大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333

新サービスご紹介

ジモコムかすや 代表者 ^{なかやま}中山 ^{ひろお}裕雄 (かすや支部)

チベット体操で“元気”中高年が急増中!?

若返りの体操

この春、チベット体操のクラブをスタートしました。

チベット体操はヨガと同じ流れを組むシンプルな健康体操です。原書「若さの泉」は、アメリカで100万部、ドイツで200万部を超えるロングセラーとなっています。

チベットのラマ僧に長年伝えられたわずか5つの動作と呼吸法により「若返り」が実現すると言われています。ほかに体験者の声で多いのは、「ダイエットできた」、「インナーマッスルが鍛えられ」身体を動かすのが楽になった」等です。そして、ゆっくりとした東洋式の動作が中高年に適しています。



インストラクターの島内(左)と

チベット体操との出会い

私は2001年、28歳の時に偶然原書に出会いました。半信半疑で体操を始め、3年後に整体院で「今日はどこも悪くないのになぜ来たの?」と言われたときに、チベット体操の良さを確信し、続けてきました。

無理なく
続けるためのクラブ

チベット体操のクラブを始めるきっかけは昨年、かすや支部の(株)シティーライン田浦社長に「中年になつたら、健康、若さが本場に大事。僕のためにもチベット体操教室を始めてくれ」と言われたことです。



4月7日リパティスカッシュコート(中央支部)で体験会



5月11日 TNCテレビももち浜ストア「若返り特集」にて放映されました。



6月9日 チベットクラブ(静岡) 松下信義先生をお迎えしての講座を開催(天神パークビル)

それまでは「60歳になって、自分で若返りを証明できたら教室を始めよう」と考えていました。以来、研修を重ね、5カ年計画の1年目としてこの4月に糟屋郡粕屋町の生涯学習センターで、週一回のクラブをスタートしました。

「みんなが元気になる」を合言葉に、楽しく、時には静かにチベット体操をすることで、いくつになっても動ける身体づくりのお手伝いをしていきます。

ちいさなチベット体操クラブ
(ジモコムかすや内)

〒811-2209

糟屋郡志免町王子1-18-1 南里ビル3階

TEL 070-5401-0442(担当直通)

<http://tibetai.jp>

クラブ情報

サンレイクかすや会場

毎週木曜 19:30~20:50

粕屋町駕与丁1-6-1 (粕屋町役場前。博多駅よりJRで10分)

※毎月一回体験会開催中。
詳しくはホームページをご覧ください。

チベット体操の原書 河出書房新社

2012年度 第2回理事会報告

■ 日時：2012年6月13日(水) 15:00～18:10

■ 会場：福岡県中小企業振興センター 301会議室

■ 出席：47名(欠席委任6名) 出席率：89%

■ 議長：林田副代表理事

□ 開会あいさつ(田浦代表理事)

NHKテレビで、「中国の経営者の中で、最近日本の経営者の方が爆発的に売れている。日本の経営者の考え方(哲学)を学ぼうと最も読まれているのは、稲盛和夫氏の本だと聞きます。なぜか、中国人も気づき出した(儲けるためだったら手段を選ばない。こういう経済社会でよいのか)良識のある、地域が安心、安全な社会づくり、企業づくりをすすめている同友会の理念は崇高であると再確認できました。今日は第2回理事会です。忌憚のないご意見をお願いします。

■ 報告事項(1)

1.各地区・支部総会開催結果報告(林田議長)

参加者数の資料を報告。支部総会630名は、ほぼ前年度と同数と報告。

2.前回理事会以降の活動

①福岡同友会の活動

- ・第1回理事会(5月9日)以降の活動一覧(事務局長)
この1ヶ月間の活動と参加状況、延会員参加1000名、ゲスト(入会対象者)37名出席と報告。
- ・節電アンケートの実施(事務局長)
節電アンケートの中間集計を報告。今後、集約分析して、対応が必要な点については、県や関係機関等に要望することを報告。
- ・福岡県の節電対策方針、関係資料を紹介
- ・第7回マスコミ懇談会(貞池広報情報副本部長)
6月1日に開催した懇談会について報告。

②全国の動き

- ・九州沖繩ブログ「第6回支部長・支部活動研修交流会」および代表者会議(前田理事(中央支部支部長))
5月24日～25日、別府で開催、福岡20名、全体で115名の開催報告の後、参加しての感想を報告。「兵庫同友会の田中代表理事がまず『強い会社にして、『いい会社』にし、『地域に必要なとされる会社』づくりで、この順番を間違えてはいけない』という感想を発言。『参加していた各団体、国会議員のみなさんが中小企業をささえていこう』という思いが強いことに感銘を受けました」
- ・中小企業憲章推進月間キックオフ集会(6月4日)&第4回幹事会(中山中小企業憲章推進本部長)
当日は、法制4団体の参加に加えて、15名近くの国会議員の参加で意義深い集会であったとの報告の後、伊藤理事(企業連携推進委員長)より、参加しての感想を発言。『参加していた各団体、国会議員のみなさんが中小企業をささえていこう』という思いが強いことに感銘を受けました」

3.創立50周年記念事業について

- ①CD「SMILE AGAIN」とりくみ結果(中野理事(CD推進副実行委員長))
5月末でCD配布が終了したことから、実行委員会のお礼状が紹介された。(5月31日現在の義援金は、5,371,612円)。また、新たに発売された、さだまさしのアルバムの中に「SMILE AGAIN」が本人の歌で収録され、ライナーノートに今回のとりくみに関する記述があることが報告された。
- ②50周年記念誌発行実行委員会スタート(貞池実行委員長)
実行委員メンバーの紹介と、発行日が2013年6月1日となったこと等を報告。

■ 協議事項

1.会員増強のとりくみ(田浦会員増強戦略本部長)

- ①5月入・退会者および会員数の確認
5月会員数1980名と、期首からは23名減であるものの、4月からはプラスマイナスゼロと維持した。
- ②増強研修会のまとめと今後の課題
6月4日に開催した研修会の結果アンケートを報告。その中の「会員増強本部への要望」に対しては、回答を紹介。
あわせて、会員満足度調査については、しっかり分析していく事を報告。
- ③新年度会員到達目標の確認
2012年度到達会員数目標について、各支部、地区の自主目標2,274名に、理事会で応援して系

島準備会で新規26名ふやす事を含めて、2,300名を確認。

会員増強のリーダーシップを発揮する意味で、理事は9つのグループに分かれて、各グループ10名、合計90名を達成することを確認。

2.運動方針の具体化

- ①室・委員会活動の動きと今後の課題
 - ・あすなる塾オープンセミナーの結果と今後のとりくみ(林田経営労働委員長)
5月19日開催のあすなる塾オープンセミナーの開催で、ゲスト11名(内入会対象者6名)中3名の入会を報告。
今後、全地区であすなる塾オープンセミナーを開催
 - 他の委員会でも「オープン講座」のような企画を検討してほしいと提起。
 - ・「経営指針フォローアップの会」(中村代表理事)資料に基き、「賀賀島経営計画セミナー」修了者で、現在会員として在籍している方を対象に「フォローアップ会」設立を提起。9月8日と3月16日に会合を予定。
 - ・共同求人への参加企業呼びかけ(時枝共同求人委員長)
共同求人活動への参加およびかけ
 - ・企業連携推進委員会(伊藤企業連携推進委員長)FAST第8回設立記念講演会開催の案内と当日の外部参加予定者の報告。
 - ・景況分析室：第81回景況調査(中村景況分析会議室)
第81回景況調査(2012年4月～6月期)への回答協力を要請。
 - ・同友すばる：事業承継塾(白石同友すばる特別委員会委員長)
事業承継塾(全4回)の第1講(講師：竹田陽一氏)開催と参加状況の報告、今後の予定を案内。
 - ・役員研修室「第18期役員研修大学」の開催(渡木役員研修室長代行)
第18期大学開催について、従来は1泊で実施してきたが、多くの方に参加いただくために、1日講座としたいと提案。9月8日(土)で開催予定。

②委員登録者の活用(田浦代表理事)

現在の登録状況を報告
登録者の活用のために、委員長会議の開催について提案。7月10日(火)13:00～14:50

3.創立50周年記念事業について

- ①第43回全研実行委員会報告と確認(樋口第43回全研実行委員長)
資料に基き、開催要項を説明、参加数(他県700名、福岡500名)、参加費2万円、分科会構成、記念講演講師候補者など確認。最終的には中同協と刷り合わせのうえ、中同協幹事会で決定される予定。
- ②中小企業憲章制定2周年記念事業「ふるさとがえり+パネルディスプレイ」参加促進(中山中小企業憲章推進本部長)
6月16日に向けて、最終的な参加促進を要請。

4.継続検討課題(中山代表理事)

- ①前回提起事項
 - ・県、地区、支部の役割と機能
 - ・予算の考え方の確認
 - ・支部独自活動の整理(課題)
上記3点を確認。
- ②今回新たに提起する事項
 - ・支部繰越金用途募集
資料に基き、改めて用途募集を行うことを提案、締切を8月末とすることを確認。
 - ・支部独自活動の整理(実態)
この資料をもとに今後検討していくことを確認。
 - ・会費の使われ方資料確認
2012年度予算にもとづき作成した資料の確認。

5.その他当面する課題

- ①中同協関係行事への参加(中村代表理事)
 - ・第44回定時総会(岐阜：参加目標要請40名)
 - ・6月5日号中小企業家しんぶん「第44回中同協定時総会議案書」の活用と政策提言
岐阜の総会では第43回全研(福岡)のアピールをするので、参加してほしい、と要請。
中同協総会議案書はぜひ各自で読んでほしい、

内容は今後の企業経営を進めるうえで多くの指針を示してくれるものだ。次月の理事会で報告いただく時間をとりたい。

②改定e.doyu説明会への全支部からの参加(中村代表理事)

- 開発の遅れで、延期になったと報告。日程未定。
- ③希望者全員65歳雇用確保達成事業について(北原理事<事業推進委員長>)
福岡労働局より受託した事業について、県内4地区で10回開催するセミナーへの参加呼びかけの協力要請。
本事業に協力いただける専門家(社会保険労務士)会員を名簿で紹介

■ 報告事項(2)

1.地区関係

- 筑豊地区憲章シンポジウム開催案内(鶴田筑豊地区会長)
7月25日に開催する、「中小企業憲章シンポジウム」の参加促進の要請。

2.事務局関係報告(事務局長)

宮崎同友会へ移籍予定だった、井上拓郎事務局員が病気のため5月31日をもって退職したと報告。6月1日付けで、大庭、坂田両名を主任に任命したと報告。

3.会員企業のごき他(事務局長)

- ①経営革新計画承認企業・表彰等
5月の承認企業16社だったが、会員企業はゼロと報告。
福岡県中小企業団体中央会より、「がんばろう中小企業プロジェクト」において感謝状をおくられた。

②新聞・テレビ等報道等

当日配布資料参照。

4.対外的対応(事務局長)

- ①小さな企業未来会議報告
- ②女性活躍フォーラム報告
- ③福岡県商工部新産業技術振興課「福岡県業種交流協議会「ミャンマー調査団」報告セミナー」案内
- ④福岡県中小企業振興センター「小規模企業者等設備導入資金制度」案内

5.その他

■ 審議事項

1.規定関係審議(長井総務財政室長)

「会員資格および会費等に関する規定」の第3条(1)の①について承認。

「事業とは、営利法人(株式会社・有限会社・合名会社・合資会社・合同会社)および公益法人(学校法人・医療法人・社会福祉法人・特定非営利活動法人・公益社団法人・公益財団法人)、一般社団法人、一般財団法人、協同組合、個人事業等を営むことをさします。

ただし、特定非営利活動法人(NPO法人)、一般社団法人、一般財団法人の入会については、多様性があることから、その事業内容を精査し、その都度理事会にて決定します。」

「組織運営規定」の第4章(理事会の任務・運営)第14条(構成)について承認。

「理事会の構成は以下のものとします。①～⑫」
※◎支部長を追加

「理事会運営細則」4条の2)の承認。
「理事(支部長及び委員長)が理事会に欠席の場合は、年度当初に登録した1名の者が代理出席者として理事会に出席することができる。代理出席登録者は議決権を有する。」

2.除籍・退籍審議

3名の除籍を承認。

□ 議長のまとめ(林田議長)

審議、決定事項を確認。

□ 開会あいさつ(中山代表理事)

今年度の会員到達目標2300名が確認されました。新たな目標にむけて、会勢転換への思いを一つにして会員増強につなげていきましょう。引き続き理事交流会を開催します。ぜひ時間がある方は残っていたら交流しましょう。



有限会社 畠中育雛場
筑前飯塚宿 たまご処 卵の庄
http://www.rannoshou.com

げんきタマゴ
代表取締役 畠中 五恵子
獣医師 SAEKO HATANAKA

E-mail tamagon@rannoshou.com
〒820-1113 福岡県飯塚市佐与1709-2
TEL 09496-2-1246 FAX 09496-2-7363

明日の電気の省エネを考える
株式会社 エア
LVD(水銀灯) LED式蛍光灯 **エコライ灯**

代表取締役 廣岡 正儀
本社/〒820-0016 福岡県飯塚市菰田東1-8-14
TEL 0948-24-5199
FAX 0948-21-0338

エクステリアの専門工事店

- 門と塀・外構工事
- 各種ブロック・フェンス工事
- カーポート・テラス・物置
- 車庫改造・植木処理
- 排水・造成・土木工事

見積無料

ガーデニングの事から土木工事まで
(有)山下ブロック工事
お気軽にお電話下さい ☎ 0948-28-1653
飯塚市菰田3丁目16-50 FAX 0948-24-5666

エビス味噌醸造元 蛭子屋合名会社

「健康と笑顔を食卓に」
常に『今』を考えた味噌のある生活の提案
蛭子屋が提案するのは、特別でも最上級でもない。
毎日使えて、毎日が楽しくなる、そんな味噌です。
それが、「みそやのキッチン」です。

〒820-1114 福岡県飯塚市口原746
TEL:09496-2-1134 FAX:09496-2-1135
URL:www.sutaminamiso.com
e-mail:ebisuya@sutaminamiso.com

代表社員 安藤 茂友

企業向け
「**運転適性診断テスト**」**無料**実施!

●お申込みは、お電話で

損害保険・生命保険取扱代理店
有限会社 コンサルティングオフィス
TEL 0948-22-7081 担当:重松 和孝

麻雀道場

福岡県で一番安いマージャン店です
フリー(0.3 0.5)は1ゲーム200円から
セットは600円から

(有)マシンサービス社 原田 正浩
福岡県飯塚市太郎丸682
☎0948-43-8777

■土木建築工事一式
■道路維持サービス工事

お客様の繁栄をプロデュースする会社

株式会社 コボイ
代表取締役 久保井 伸治

〒820-0001 飯塚市鯉田2425-145
TEL 0948-23-0890 FAX 0948-23-0479
http://www.kuboicom.co.jp

これからも新しい技術で
おいしい食卓を支え続けます。

弊社の「小袋包装無菌充填システム」
が第4回ものづくり日本大賞 優秀賞を受賞しました。これからも高品質で安心・安全な食を提供する企業としておいしい食卓を支え続けます。

一番食品株式会社 代表取締役 須堯 正彦

〒820-8601 福岡県飯塚市伊川1115 TEL0948-22-0100
営業所:福岡・大阪・名古屋・東京・仙台・札幌 / 関東美野里工場

環境に優しいLPガス

株式会社 液化ガス

〒820-0001 福岡県飯塚市鯉田2317番地
TEL (0948) 24-4646
FAX (0948) 23-0765
フリーダイヤル 0120-040-646

代表取締役 須堯 正彦

只今成長中!!
(須堯 廉君/3才)

ラピュタファーム
http://laputa-f.com